

年月日	2023年7月31日～8月2日
天気	晴れ、時々霧
集合場所・時間	JR 芦屋南 7:30
参加人数	22名（内V3名）
歩行時間	コースタイム欄に記載
費用	48,000円（コースにより違いあり）

今回は唐松岳登山のAコースと白馬村周辺ハイク&観光のBコースの2グループに分け、総勢22名で芦屋を貸切バスで出発しました。

コースタイム

7月31日（月）全員

JR 芦屋 7:30、西宮インター入口 7:45⇒名神、中央道、長野道（途中黒丸PAと駒ヶ根SAで休憩、昼食）⇒安曇野IC⇒姫川源流自然探勝園散策、白馬ジャンプ競技場見学⇒ホテル対岳館 16:15

8月1日（火）

Aコース 対岳館 7:30⇒山麓駅ゴンドラ、リフト3本乗り継ぎ⇒リフト山頂駅、八方池山荘前 8:30/8:40～八方池、（ここでBコースは下山）9:50/10:05～扇雪溪、ランチ 11:10/11:40～丸山ケルン 12:05～唐松岳頂上山荘 13:00 チェックイン後空身で唐松岳往復、山荘 14:00～頂上 14:20～山荘 14:40

Bコース 八方池までAコースに同行 9:50/10:45～オープンテラス、ランチ 11:45/12:05～リフト山頂駅 13:10～山麓駅 13:20

（車で岩岳ゴンドラ山麓駅へ）山麓駅 14:35⇒山頂駅、散策 14:45/16:10⇒山麓駅 16:20⇒対岳館 16:35

8月2日（水）

Aコース 山荘 6:40～丸山ケルン 7:24～扇雪溪 7:46～八方池 8:45～山頂駅 9:45、リフト、ゴンドラ乗り継ぎ⇒山麓駅 10:30～八方の湯（入浴）11:10/12:15⇒往路を帰り⇒芦屋 19:30

Bコース 対岳館 8:30⇒車で移動⇒大出公園 9:00/9:20⇒五竜ケーブル山麓駅 10:10⇒上駅（7ルプス平）10:30⇒リフト⇒五竜高山植物園 10:40～上駅 11:10⇒山麓駅 11:30⇒八方の湯、Aコース組と合流 12:05

感想

7月31日（月）全員

今年の夏山は2月の企画会議で北アルプス唐松岳 2,696mに決定。参加人数は直前まで増減が反復し対応に苦労し、また天候も良、不良と二転三転したが実施を決断、結果としては天候に恵まれた楽しい山行となった。

JR 芦屋駅前を7:30に出発、途中休憩や昼食をとり白馬村に入った。姫川源流自然探勝園を散策し、長野五輪に時の白馬ジャンプ競技場を見学、夕刻に今宵の宿、ホテル対岳館に到着した。夕食までの間は部屋で寛ぎ、ゆったりとした温泉に入りのんびりとした時間を過ごした。夕食はフランス料理でアルコールも適度に進み、楽しい宴の時を過ごした。明日の好天を願って就寝となった。

8月1日（火）Aコース

朝食時には小雨模様であったが宿を出る頃には止んだが予報では昼から傘マーク。ゴンドラ、リフトを乗り継ぎ本日の山行スタート地点、八方池山荘前（1833m）に8:30に到着、一帯にガスがか

かり遠景は全く見えない。八方池までは整備された木道、所々に滑りやすい蛇紋岩のゴロ石道、周りにはお花畑、赤、ピンク、白、黄色、青、紫の花々が今を盛りとばかりに咲き誇り、有名なガーデンが造園したよりも数段美しい。欲を言えばもう少し時間をとって鑑賞したかった。扇雪溪の横でランチタイム、天然ケラー。お昼過ぎに丸山ケルに到着、その頃にはガスもとれ出したので北アルプスの荒々しい絶景がいきなり目に飛び込んできた、感動！ここからは本格的な登山、ロープ場、急登をこなし13時過ぎには唐松岳頂上小屋に到着した。目指す唐松岳はガスがかかり見えないが、計画通り唐松岳をピストンすることとなり空身で出発、20分ぐらいで唐松岳頂上2696mに到着した。ガスであまり周囲は見えないが登頂記念撮影、帰り道では幸運にもライチョウに2度（ライチョウ親子2羽と単独1羽）も会えた。頂上小屋は水不足で洗面所の水もダメ、みそ汁はお代わりダメ、水500ccが300円、ポカリ600円、ビール350cc800円と超インフレ、多少閉口したが翌日の晴天を願って8時過ぎには就寝。

8月1日（火）Bコース

八方池でAコース組を見送りしばらくはのんびりとした時間を過ごし下山開始。ゴロゴロした石に悩まされながら12時前に絶景ポイントのオープンテラスに到着、ホテルのおにぎり弁当をおいしくいただいた。五竜の山並みをバックに高山植物の咲く緑の草原のような八方は写真でよく見るスイスの草原のようで素晴らしかった。リフト、ゴンドラで下山、一旦ホテルに戻った後岩岳の山麓駅へ向かいます。再度ゴンドラに乗り岩岳マウンテンリゾートへ。マウンテンリゾートではカフェテラスから白馬三山の絶景（ちょっとガスがかかったのが残念）を楽しみ、美味しいスイーツを食べたりして1時間半ほど過ごしました。再度ゴンドラで下山、ホテルには16時過ぎに戻ってきました。

8月2日（水）Aコース

雨水が頼りの山荘ですが最近では雨が殆ど無く水が枯渇していました。水の大切さを改めて再認識。唐松山荘はシルバーエージの宿泊客が多く、我々より高齢者も登ってきており、レベルも数年後でも大丈夫と感じました。朝方ちょっと霧が晴れ、唐松、五竜、正面には立山、剣と壮大な北アルプスの山々が見えたのですが、霧がかかってきて再度唐松に登って絶景をのプランはあきらめ下山開始。すると霧が晴れ最高の状態で快適に下山できました。今回は雨を覚悟の登山でしたが終わってみると一度も雨に打たれることもなく、最高の登山でした。下山もリフトまではほぼコースタイム通りでレベルもまだまだ行けると確信、行く山の選定が大変ですが、来年の山行も楽しみになりました。

8月2日（水）Bコース

8時半にホテルを出発、吊り橋と白馬岳などの北アルプスをバックとする絶景で有名な大出公園、そしてヒマヤの青いケシなども咲く白馬五竜高山植物園に行き、雄大な北アルプスを背景に高山植物を楽しみました。ヒマヤの青いケシは本当に“美しい青”で感動しました。11時半には下山し八方の湯でAコース組と合流しました。

2日間の連泊でゆっくり北アルプスの自然を楽しみ、ホテルの朝晩の料理も美味しく、白馬村周辺ハイク&観光組は大満足です。車提供のTさん、企画や宿泊予約をしていただいたOさんに感謝です。ありがとうございました。